

# 人工林材の利用拡大に向けた取組

～人工林資源の充実を踏まえた地域との連携～

網走中部森林管理署

## 【現状】



- 人工林資源の充実により主伐が増加しているが、搬出するためのコストを下げる取り組みはこれから。
- 生産コストを下げるため、事業体自らが工程を管理し、作業システムの見直しを行っていく必要がある。
- オホーツク地域は一体となって森林認証の取組みを進めているところであり、広く認証材普及への取組が必要。

## 【課題】

### ○低コスト化推進

・搬出の効率を上げ木材生産のコストを下げる取り組みを地域全体で進めることが必要

### ○生産コストの管理

・低コスト化推進と合わせ事業体自らが作業工程を把握し、分析を進め生産コスト管理を進めて行くことが必要

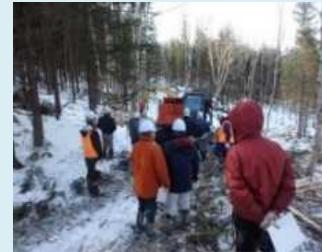
### ○木材利用の普及啓発

・地域材の利用促進に向けて広く一般消費者に向けた木材利用や認証材の普及啓発が必要

## 【平成28年度の取組】

### ①現地検討会の開催

持続的な森林経営・安定的な木材生産を図るため、低コスト化を推進させていくことが必要であることから、民有林関係者（森林組合、事業体）を参集し、国有林において現地検討会を開催。



### ②工程管理システムの普及

事業体自らが工程管理に基づく効率的な作業システムを検討できるよう簡易に作業工程・生産コストを算出し機械ごとの作業工程が把握できる「工程管理システム（エクセルプログラム）」を民有林関係者（森林組合、事業体）へ紹介し、使用方法などを説明。



### ③木材利用の普及啓発

一般町民を対象に地域における木材利用の重要性や認証材についての普及啓発等を目的として、伐採から製品が出来、建築へ利用されるまでの流れ（民有林伐採現場、製材工場、木造建築）を見る見学会を平成27年に続き、置戸町・森林組合等と連携し開催。



## 【成果】

○民有林関係者に対して高性能林業機械や列状間伐等の国有林での取組の普及を図りました。

○工程分析を行うことで実際の作業システムを見直す際に参考としてもらうよう関係者へ働きかけ、工程管理への活用を推進しました。

○参加者から「林業のイメージが大きく変わった。」「林業の仕事を知ることができてよかった。」等の意見が聞かれ、一般消費者に対して、林業・木材産業への理解と木材利用の重要性を深めることが出来ました。

## 【今後に向けて】

地域材の利用拡大に向けて、効率的な施業方法、低コスト作業システムの普及等の取り組みに重点を置いて進めていく。  
また、地域住民へ木材利用の普及活動などを引き続き進めていく。